

特許紹介

第22卷第11號 昭和11年11月

セメントの製造法

(特許第 116735 號
特許権者 (發明者) 番坂善雄)

此の發明は殆ど廢物に等しいセメント製造燒窯よりのダストに明礬又は硫酸礬土或は是等を含むものゝ粉末を適量混じり、水で捏り合せ、後凝固するのを待つて、セメントクリンカーに適當量混加し(別に石膏を混ざることなく)之を粉碎するセメント製造法であつて一種の廢物利用法である。

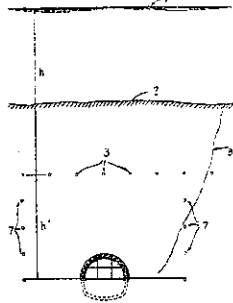
水底隧道掘鑿方法

(特許第 117324 號 發明者 河原定雄, 伊藤辰雄)
特許権者 鉄道大臣

此の發明は、海底又は河底に於ける隧道の氣閉式掘鑿方法を低圧空気で施行することの出来るやうにして、高氣圧に基く危険を防止し、作業能率を高め、施工費を軽減せしめる爲に考案せられたものであつて、即ち將來隧道の天井となるべき部分と、水底との中間部に、隧道の中心線に並行に側面に噴氣孔のある送氣管(3)を挿入し、其の送氣管と氣閉と同時に送氣して、掘進する方法である(図-1)。

斯くする時は、送氣管(3)以上の水は噴氣孔から噴出する壓縮空氣の爲に押し戻されて新に侵入することが出来ない、又既に(3)以下に從來存在してゐる水は水頭(6)に相當する低壓力を以て侵入するに過ぎないから、之は水溜に溜め隧道の内部に抽出することが出来る。尙側方にも送氣管(7)を配置すれば、非常に速き部分から側方を通して侵入する水に對して有效である。

図-1.



セメント燒成装置

(特許第 117347 號
特許権者 (發明者) 横山文司)

中空管の下部に礎定部を築造する装置

(特許第 116803 號
特許権者 (發明者) 糸賀又右衛門)

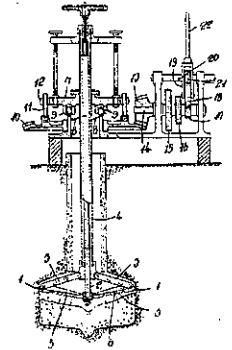
此の發明は、中空管の下部の空洞部に流下したコンク

リートを攪拌叩打、壓縮して緻密に凝固せしめて堅牢な礎定部を作らしめる装置の考案で、即ち叩打子を兼ねた折疊式の翼片(1)を内管(2)と外管(4)に連結し、兩管の何れかを上下させることによつて翼片(1)の開放度を加減するやうにし、外管(4)に固定した支持莖(7)の滑車(9)を固定カム(8)上に置き、且つ支持莖と

カムの廻りを同転するベベル齒輪とを係合させ、その齒輪の同転速度を變へることによつて同轉翼の同轉數並に叩打數を増減させる装置である(図-2)。

尙、(6)は翼片に於けた壓縮空氣の噴出孔である。

図-2.

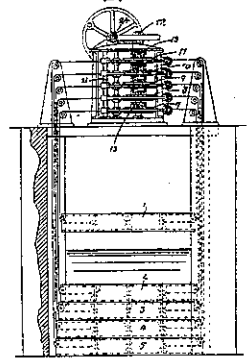


水門扉操縱装置

(特許第 116823 號
特許権者 (發明者) 田原久吉)

此の發明は、複數に分割した水門扉の各扉の閉鎖を自重に依つて自動的にし、その速度も調節し得るやうにしたもので、即ち各分割扉に相當して捲胴(7), (8), (9), (10)……を備へ之等を綱索等で連結し、各捲胴は1の共通廻轉軸(12)上に嵌合して、適當なクラッチ装置及ブレーキを備へたものである(図-3)。

図-3.



擊衝機

(特許第 116927 號 特許権者 メンク アンド ハムブロック)
グゼルシヤフト ミト ベシュレンクテル ハフツング

此の發明は、擊衝鉞(3)上に固定したピストン(5)と、撞槌作用をするシリンダー(6)とが或る距離だけ分離し得るやうに試みた杭打等に使用する擊衝機で、之に依つて撞槌(1)の動作行程を長くして能率を増進し、且つ爆發瓦斯の殘留することなからしめたものである(図-4,5)尙、(3)の凹所には杭頭を挿入するのである。

図-4.

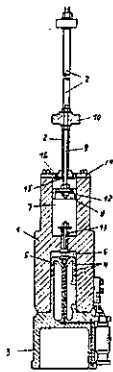
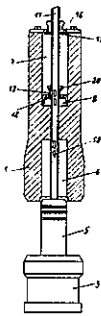


図-5.



耐酸セメントの製造法

(特許第 117059 號
特許権者 (發明者) 河村吉三)

此の發明は、燐灰石から過燐酸石灰を製造する際、副生分解ガス中の弗化珪素が凝縮して生ずる泥漿の粘塊狀物質を其の水分 10~3% 程度に到る迄半乾燥し、之を微粉砕し、更に少量の硫酸石灰を混和し、之に 45% 以上 (重量比) の珪砂又は珪酸白土或は兩者の混合物を混合し、之を珪酸ソーダ溶液又は之を主劑とする溶液で混捏する方法である。

沈澱槽のレーキ回転框

(特許第 117065 號
特許権者 (發明者) 田原久吉)

此の發明は、沈澱槽のレーキ回転框の運転中、其の中心部から兩端に至るに従ひ漸次増大する線速度及び後向推力の差異の爲に生ずる框の捻じれんとする傾向を防ぎ、框の座りを安定ならしめて水平回転を行はしめる爲に考案したものであつて、図-6、7、9、10 に見るやうに回転框の上構(1)は中央から兩端に向つて漸次其の幅

図-6.

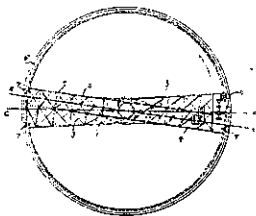


図-8.



図-9.

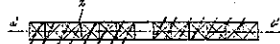


図-10.

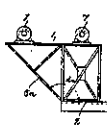


図-7.



を増大せしめ、レーキを取つけた下構(2)は上構の一側の角隅(右下)から反對端の角隅(左上)に向つて斜めに配置し(図-6、9)、従つて下構と上構とを連繫する斜構(5n)が下構の平面と成す傾角(αn)を(図-10 参照)中央部から兩端に至るに従ひ漸次増大せしめたものである。

セメント混合材製造方法

(特許第 117066 號
特許権者 (發明者) 南鐵鉄)

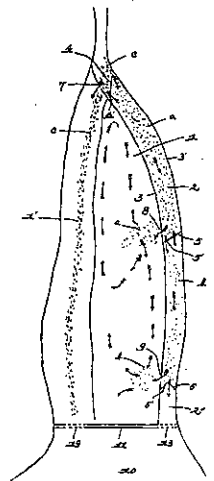
此の發明は粘土類に硫酸を作用せしめて硫酸礬土を抽出した溶解残渣を硫酸石灰水溶液で處理して附着した硫酸礬土等の水溶性成分及遊離硫酸を充分に除去した後、之を乾燥するセメント混合材の製造方法である。

土地改良装置

(特許第 117180 號
特許権者 (發明者) 山本伊三郎)

此の發明は、図-11 に見るやうに、開墾地(1)と河川(2)との間に堤防を築造し、上流から下流に到る河中の要所には、砂礫、下層水、中層水、上層水とに自然に分離せしめる壁(4)、(5)、(6)を設けると共に、その壁及堤防の要所に砂礫、下層水、中層水等を各別に下流或は開墾地に流下流入せしめる樋門(7)、(8)、(9)を設け、外海に接する防潮堤(11)には河口に於て外海の高水準に對抗して水位水圧を優勢ならしめる調節装置壁及上下2段に水門を有する溢流水門を、開墾地に於ては壤土及肥料分を自然に沈澱せしめる貯阻壁(17)を有する排水門(20)を設けたものである。

図-11.



(附) 登録實用新案

コンクリート強度供試体採取機

(第 226284 號 公告 11 年 第 2286 號
實用新案權者 日下部澄太郎外 1 名)

セメント外皮を施したる鉄芯にてコンクリート板を組合せたる槽

(第 226297 號 公告 11 年 第 2834 號
實用新案權者 根來伸至)

コンクリート管の接手

(第 226670 號 公告 11 年 第 4143 號
實用新案權者 日本ヒューム管株式會社)

保護環附鉄筋コンクリート管

(第 226371 號 公告 11 年 第 4187 號
實用新案權者 同上)

(吉藤幸朔)